

廃棄物集中処理建屋換気系排気筒モニタの一時的な欠測について

<概要>

(事象の発生状況)

- ・平成 20 年 10 月 1 日、廃棄物集中処理建屋換気系排気筒モニタのサンプリングポンプが停止しました。
- ・このため、約 10 分間、当該モニタが欠測しました。

(調査結果)

- ・設備を点検した結果、異常はありませんでした。

(推定原因・対策)

- ・当該ポンプが停止した原因は特定できませんでした。
- ・今後、サンプリングポンプが停止した場合でも欠測しないように設備を改良します。

(安全性、外部への影響)

- ・他の放射線モニタの指示値に異常はなく、外部への放射能の影響はありません。

(公表区分)

- ・本事象は公表区分Ⅲ（信頼性向上のために公表する事象）としてお知らせするものです。

詳細は以下のとおりです。

1. 事象の発生状況

平成 20 年 10 月 1 日午前 10 時 45 分、廃棄物集中処理建屋*¹換気系排気筒モニタのサンプリングポンプ*²（A）（以下、当該ポンプ）の入口流量の異常を示す警報が発生し、当該ポンプが停止しました。その後、午前 10 時 55 分頃に当該ポンプを再起動し、異常の無いことを確認していますが、約 10 分間、当該モニタが欠測となりました。

2. 調査結果

調査の結果、以下のことがわかりました。

- ・警報が発生する前に廃棄物集中処理建屋換気系排気筒モニタ検出器の入口側にある試料採取用フィルタの交換作業を実施していたこと。
- ・試料採取用フィルタの設置状態を確認したが、異常はなかったこと。
- ・事象発生時と同じ手順で試料採取用フィルタ交換作業を実施したところ、サンプリングラインの流量および圧力に大きな変化はなく、再現性は確認されなかったこと。
- ・当該ポンプ吸い込み側のフィルタを確認したが、サンプリングラインに詰まりを起こすようなものは認められなかったこと。

3. 推定原因・対策

当該ポンプが停止に至った原因は特定できませんでしたが、今後、運転中のサンプリングポンプが何らかの原因で停止した場合でも欠測しないように、待機中のサンプリングポンプが自動で起動するよう設備を改良します。

4. 安全性、外部への影響

当該ポンプが停止していた間、他の放射線モニタの指示値に異常がないことから、放射性物質の放出はなかったものと評価しております。

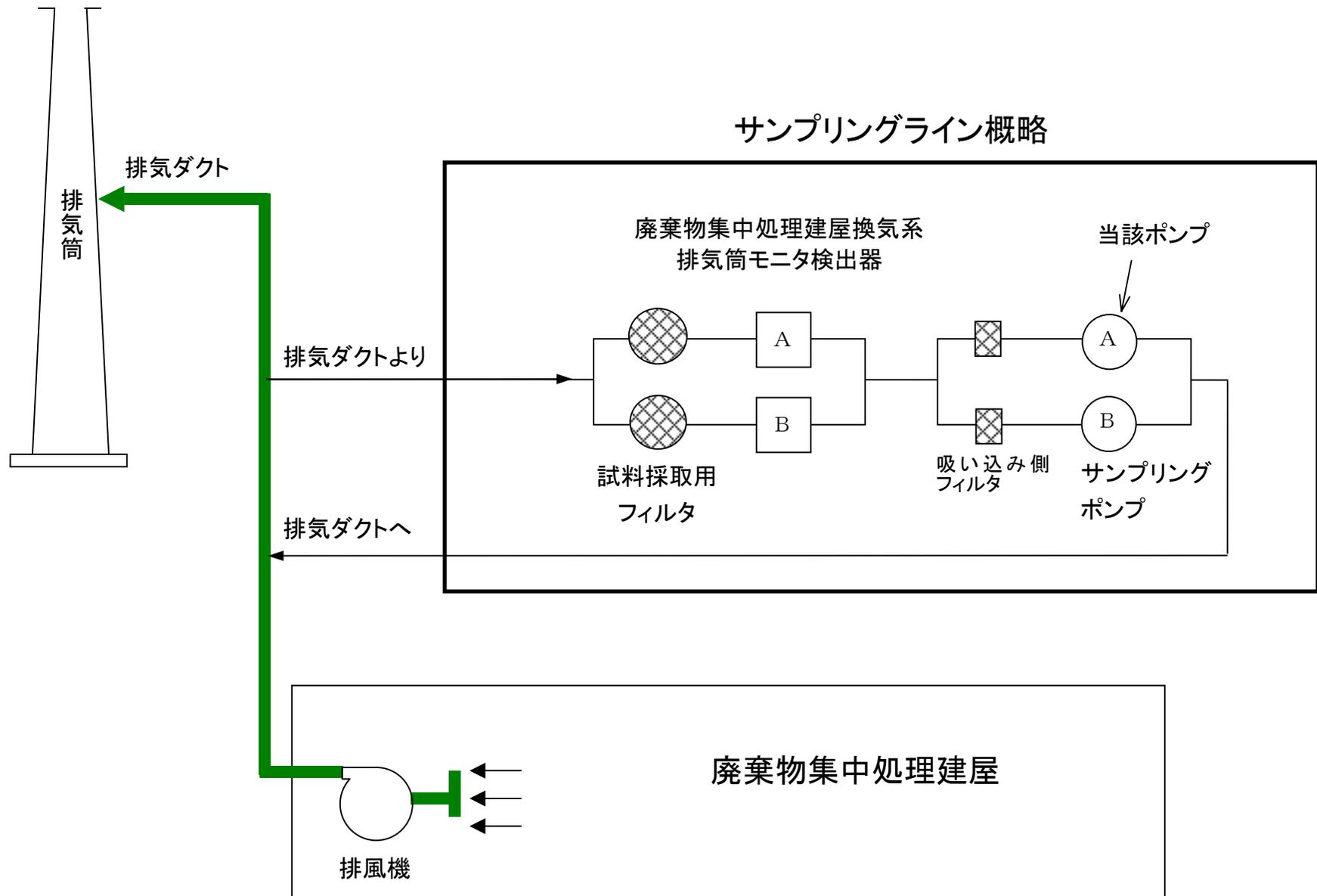
以 上

* 1 廃棄物集中処理建屋

発電所から発生する液体廃棄物や洗濯廃液などを一括集中処理する建屋。

* 2 サンプリングポンプ

廃棄物集中処理建屋換気系排気筒から放出される排気をサンプリングするポンプ。ポンプは2台あり、1台が常時運転している。



廃棄物集中処理建屋換気系排気筒モニタの概要